

1章：なぜ、中学受験をするのか？

中学受験や小学校受験ましてや幼稚園受験は、別にやってもやらなくてもどちらでも良い。小学校中学校は日本国憲法で決められている義務教育なので、必ず通うことが出来る。私も妻も地元の公立小学校から公立中学校へと進学し、高校受験が初めての受験経験でした。仮に大学に進学するとすれば高校3年生の時に2回目の受験。その先も進学の可能性はあるが、私たち夫婦は合計2回の受験を経験しました。受験や試験と言えば、あまり積極的に受けたとは思わない人が多いと思う。私もそうでした。

でもそれは間違いです。はじめに書いたように、また別のコラムにいつも書いているように、人は多くの場合結果ばかり気にしてしまいます。それと同時に周りの目を気にしてしまいます。それ自体は自然なことなので、よし悪しを言うつもりはない。しかし、本当に大切なのは結果だけではないし、ましてや周りの目＝評価ではない。結果を出すと決めて挑戦する強い心。周りの意見や評価に過度に囚われない確固たる自己。受験しなければ得られない貴重な体験です。それ自体はとても価値がある。結果なんかどうだって良いと言うわけではありません。自分が望む結果を出すために、挑戦することに意味がある。合否の結果のない試験を受けても意味がない。挑戦のしがないし、そもそも挑戦になって

いない。勝ちがあれば必ず負けもある。初めから負けても良いと思って、戦っているようでは真剣になれないし、逆に自分の能力に蓋をしてしまう。結果、勝てずに負けてしまった場合でもその経験は1つの貴重な体験として、血となり骨となる。

大人になると、勝ち負けの世界から距離を置きたくなり、何事も穏便に済ませるように行動しがちだ・・・

～抜粋版です～

全文読んでみたいと思われた方は完成後小冊子として送付させていただきますので、

メールにてお問合せください。